

最優秀賞

作品名 蓮池太刀踊り

名 前 島元 慶子



講評

踊り子、太鼓の一堂がきちんと構図に入った。太刀が幣のふさを切る瞬間をよくとらえている。

また、一堂の緊張が快い。

適切な人物配置によって、とてもまとまりがあっていいと思います。また、表情もよくうかがえます。

ひと太刀ひと太刀に気迫が伝わってくるようです。

太刀踊りのスナップだが画面構成が素晴らしい。左の二人の世話役も画面を締めている。

優秀賞

作品名 名野川岩戸神楽

名 前 杉浦 正幸



講評

名野川岩戸神楽のアメノウズメの舞。跳躍の瞬間を捉えた。赤の袴がふくらんで、その力みを伝える。

広角レンズにより神楽の装置の切紙、天井の天蓋がおさまって、神楽の時空を伝える。

静かで厳かな舞や、一方で激しい動きのある神楽。作者はその動きをより強く表現するためにアングルにこだわりました。

これにより、赤い衣服が画面にフワッと舞い上がり、新たな視点を見出しています。狙いが独創的ですね。

シャッターチャンスが決まっている。ローアングルも良い。

優秀賞

作品名 大川上美良布神社 おなばれ
名 前 なぎさわ



講評

美良布神社おなばれの中の巫女舞の少女。クローズアップで無心な表情を捉えた。美しい。

スクエア（四角）の画面に切り取ったことで、被写体の存在が大きく浮かび上がってきました。これが大正解。これにより、巫女さんの表情から神聖な思いや真摯な感情が感じられます。また片目を強調したことで、静かな中にも非常にインパクトの強い作品になっています。

アップで巫女の良い感じが良。少女の清潔さが出ている。

審査員特別賞

作品名 神峯神社秋季大祭

名 前 山中 正光



講評

神峯神社秋祭りのみこし。みこしをかついで石段を上る白装束・えぼしのかつぎ手と上からみこしにつけた紅白の縄を引っ張る男の人と、一つになった双方の力が感じられる。

長い石段の神峯神社。みこしの担ぎ手は大変な労力です。右側に縄を引っ張る人物を大きく入れたことで、見る者も思わず力が入ってくるようです。一本の縄にまつりに関わる人達の絆を感じさせる作品となっています。

みこしの迫力が良く出ている。右の人物も良い感じだ。

審査員特別賞

作品名 下津井冬もうし

名 前 山脇 隆良



講評

橋の上の一行。先頭の牛鬼、肅々と従う男衆。牛鬼の赤が美しい。構図がいい。

牛鬼を先頭にめがね橋を渡るシーン。今年も変わりなく祭りが続けられている。

リバーサルフィルムでの撮影かと思わせる落ち着いた階調が懐かしさを醸し出している。

そうした中で、牛鬼の`赤、が目飛び込んでくる。周りの状況もうまく取り入れてうまく仕上げた作品。

祭りのしゅくしゅくと行く感じが良く捕らえられている。赤い牛鬼がよく効いている。

審査員特別賞

作品名 永渕神楽

名 前 横山 豊



講評

太鼓をたたく102歳の長老の風貌。何をみておられるか。研ぎ澄まされた表情が美しい。

きっと長い間この祭りを支えてきた人だろうな、と感じる。口元をグッと結んだ顔に強い意志と気概がうかがえます。非常に存在感のある人をシンプルに素直に切り取ったのが良かったと思います。

年配者の祭りへの思いを感じる。

佳作

作品名 秋葉まつり
名 前 CHiHARU



佳作

作品名 佐婆為神社冬の祭礼嫁入り行事
名 前 山中 正光



佳作

作品名 池川神楽
名 前 山脇 隆良



佳作

作品名 賀茂神社秋祭り花取踊り
名 前 安光 一喬



佳作

作品名 津野山神楽「花米の舞」

名 前 安光 一喬



佳作

作品名 山北棒踊り

名 前 島元 慶子

